

# Winner7

議員後援会向け名簿管理システム

インストール操作マニュアル②  
(ネットワーク編)



第2版

2019年03月

有限会社田原産業／ソフトウェア事業部（ネバーランドソフトウェア）



*Neverland*  
Software

# INDEX

1	はじめに .....	4
2	ネットワーク運用について.....	5
2.1	用語の説明 .....	5
2.2	サーバーPC・クライアント PC で行う作業について.....	5
2.3	ファイアウォールの設定（サーバーPC で実行する） .....	5
2.4	TCP/IP 接続状況をチェック（サーバーPC で実行する） .....	10
3	FIREBIRD システムのインストール.....	12
3.1	Firebird システムについて .....	12
3.2	Firebird システムのインストール手順（クライアント PC で実行する） .....	12
3.2.1	インストール前の確認事項 .....	12
3.2.2	Firebird インストーラの準備 .....	12
3.2.3	Firebird インストール処理実行（クライアント PC で実行する） .....	12
4	DBCHECK システム実行 .....	17
4.1	DBCheck システムについて.....	17
4.2	DBCheck システムのインストール手順（クライアント PC で実行） .....	17
4.2.1	DBCheck システムインストーラについて .....	17
4.2.2	DBCheck システムのインストール.....	17
4.3	DBCheck システムの実行（クライアント PC で実行） .....	18
5	ネットワーク（LAN）運用について.....	19
5.1	はじめに .....	19
5.2	Winner7 フォルダを共有する（サーバーPC で実行） .....	19
5.3	データベースの接続情報を設定（サーバーPC で実行） .....	25
5.4	ネットワークに接続設定手順.....	29
5.4.1	処理の概要 .....	29
5.4.2	設定内容（まとめ） .....	30
5.4.3	クライアントから Winner7 を起動する .....	31
5.4.4	ショートカットの作成.....	33
6	付録.....	34

6.1	トラブルシューティング .....	34
6.2	サポート連絡先 .....	34
6.3	改訂履歴 .....	34

## 1 はじめに

このマニュアルは Winner7 システムをネットワーク（LAN）上で運用するために必要な手順を説明するものです。

ネットワーク（LAN）運用ができるのは **Winner7・プレミアム版**です。

それ以外のバージョンではネットワーク（LAN）運用対応していないのでご注意ください。

ネットワーク運用ということは複数の PC を接続して運用することになります。

その際、一台の**サーバー**となる PC と一台以上の**クライアント**となる PC で構成されます。

サーバーPC には「インストールマニュアル①（基本編）」に記述されている手順で Winner7 システムおよび Firebird システムが既にインストールされていることが前提となります。

サーバーPC に対するこの作業を終了していない場合はネットワーク運用ができないのであらかじめ準備しておいてください。

サーバーPC に Firebird システムをインストールしている場合でも、サーバーPC で TCP/IP 接続環境が設定されていない場合はやはりネットワーク運用ができません。

本マニュアルにしたがってサーバーPC の TCP/IP 接続環境をセットアップして下さい。

## 2 ネットワーク運用について

### 2.1 用語の説明

#### ■用語の説明

サーバーPC	Winner7 本体をインストールし、運用の中心となるPC。 接続されたクライアント PC からアクセスされ、共通のデータ処理を行います。
クライアント PC	ネットワークに接続され、サーバーPC に記録された Winner7 データを読み書きします。 端末 PC とも呼ばれます。

### 2.2 サーバーPC・クライアント PC で行う作業について

複数の PC を連携したネットワークシステムで運用する場合は以下の作業が必要になります。

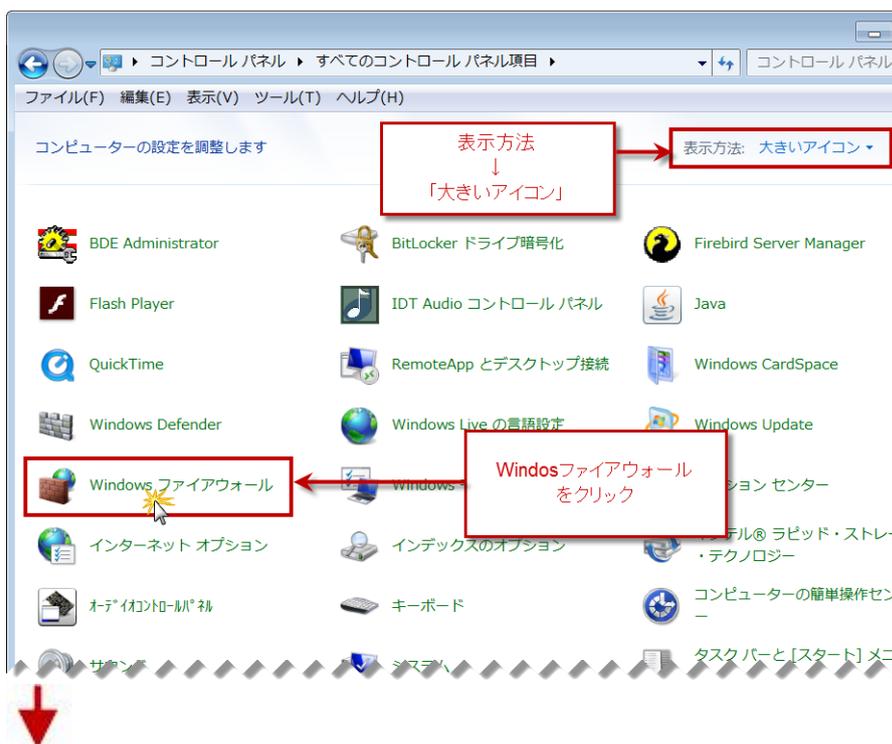
それぞれに必要な作業をまとめておきます。

作業区分	サーバーPC	クライアント PC
Winner 7 システムのインストール	○	×
ファイアウォール設定	○	×
Firebird システムのインストール	○	○
DBCheck システムのインストール	○	○

### 2.3 ファイアウォールの設定（サーバーPC で実行する）

サーバーPC のファイアウォールを設定し、クライアント PC からの接続を許可します。

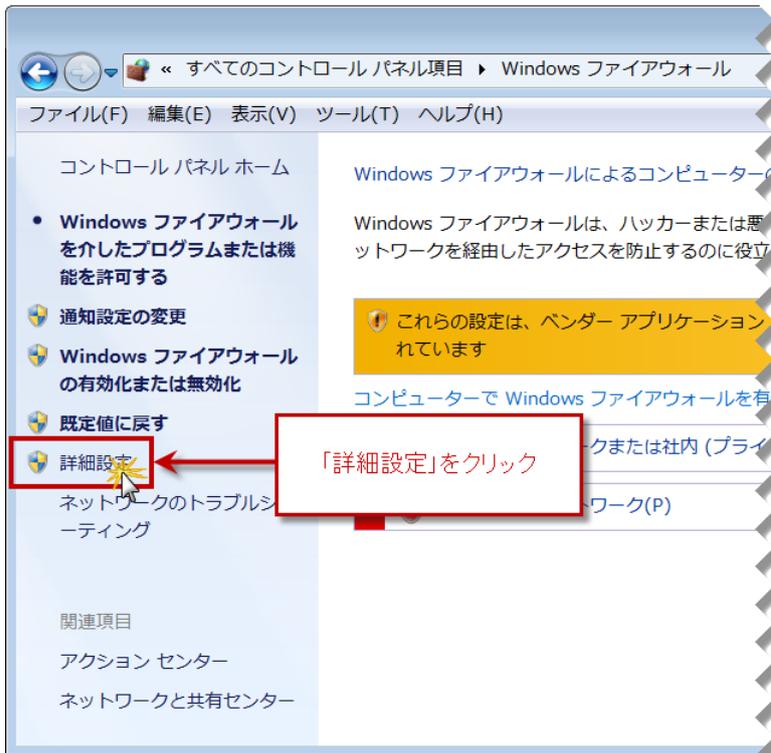
この作業は**サーバーPC**で行います。



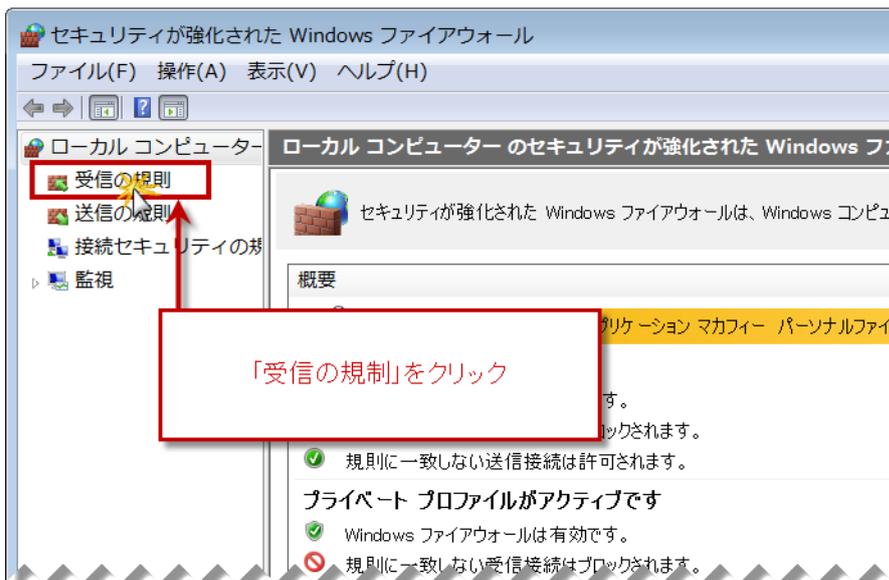
コントロールパネルを起動。

①表示方法は「大きいアイコン」を選択していると想定しています。

②Windows ファイアウォールをクリックします。

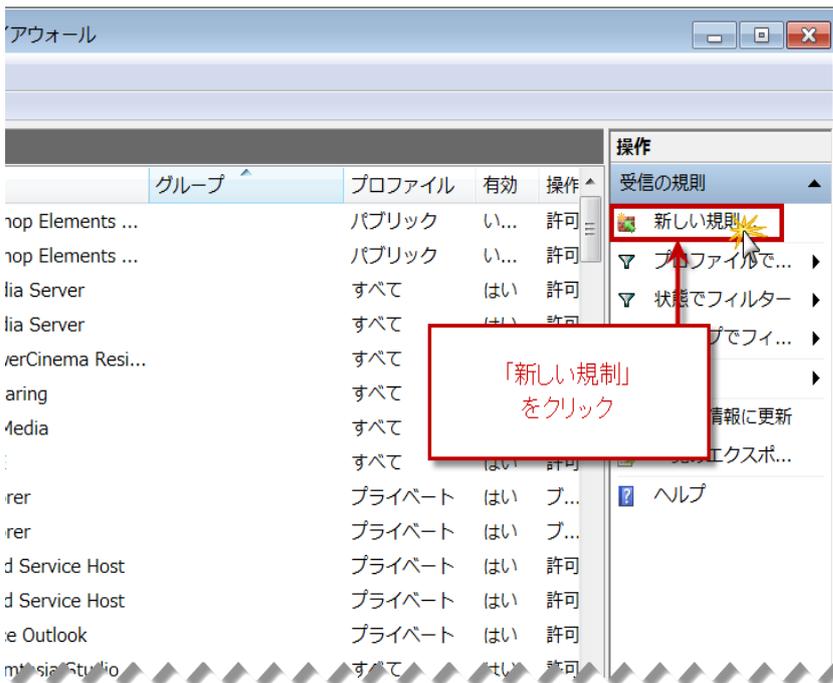


「詳細設定」をクリックします。



「受信の規制」をクリックします。

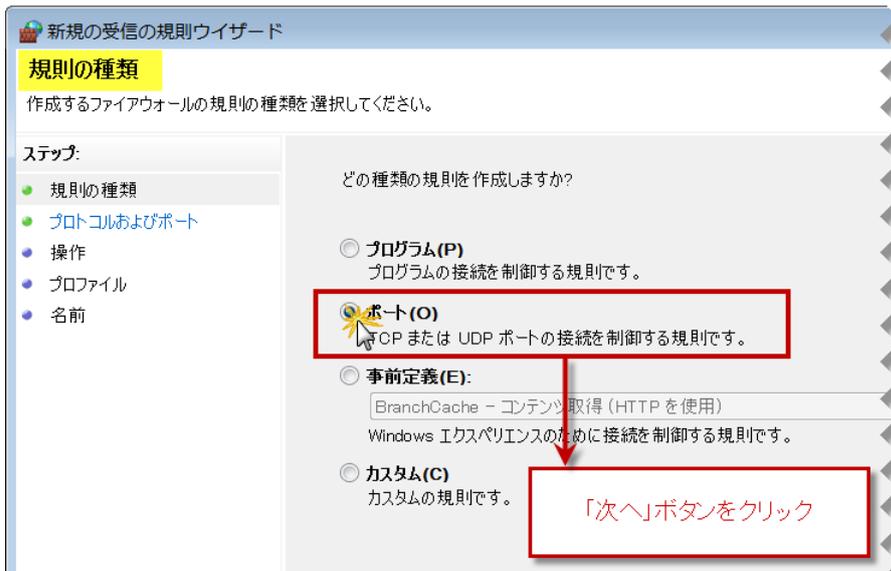




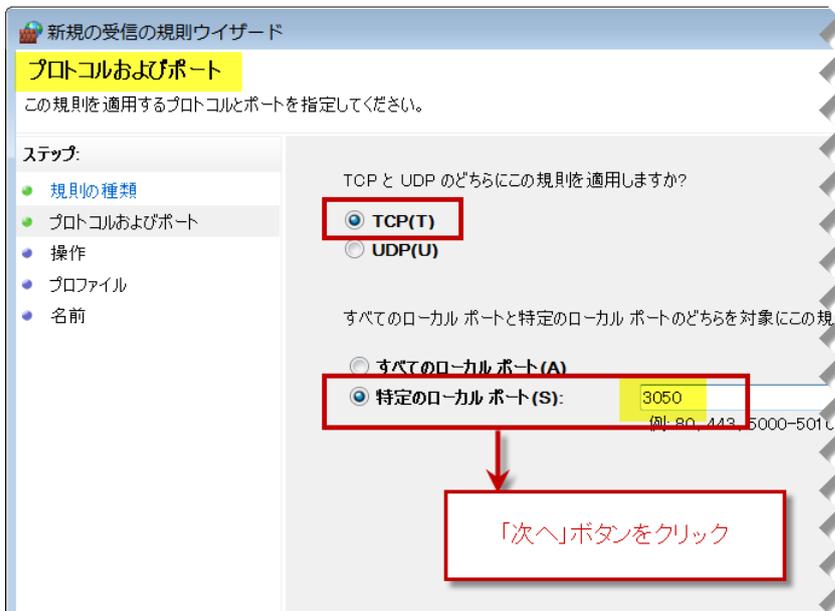
「新しい規制」をクリックします。



「新規の受信の規制ウィザード」画面が表示されます。



「規制の種類」画面で「ポート」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

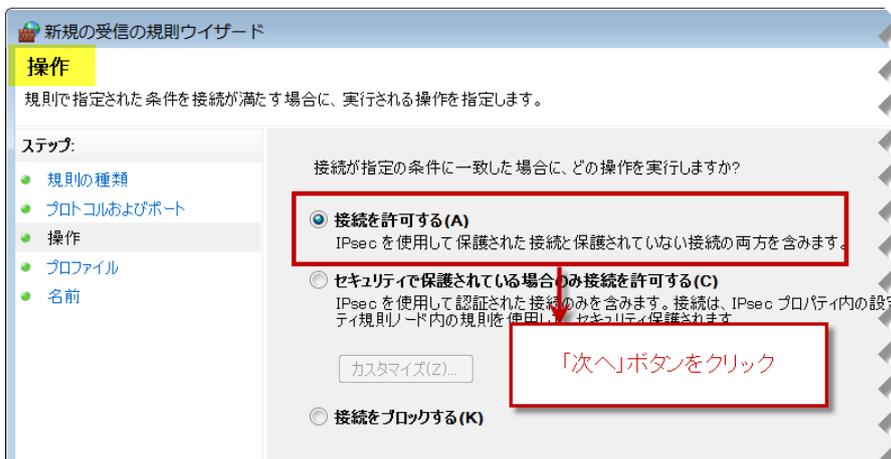


「プロトコルおよびポート」画面が表示されます。

①「TCP」を選択

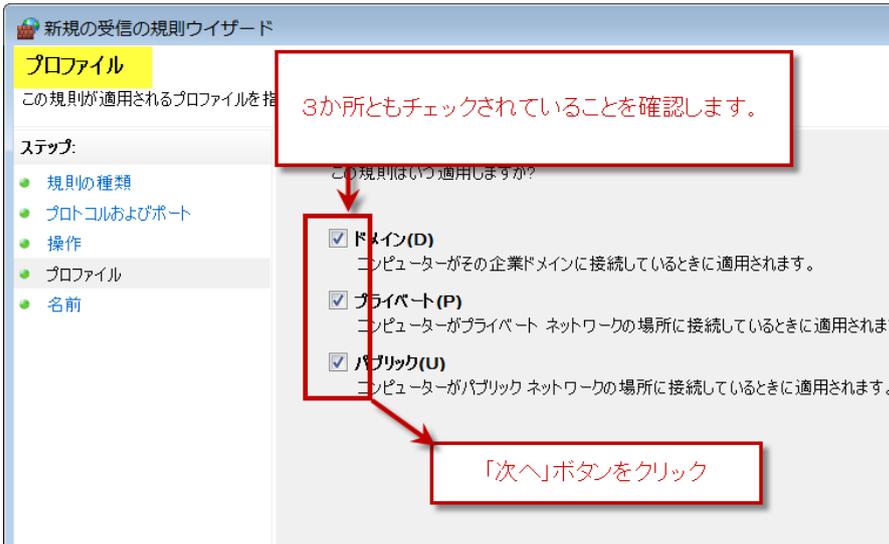
②「特定のローカルポート」を選択。「ポート番号」として「3050」を入力します。

③次へボタンをクリックします。



「操作」画面が表示されます。

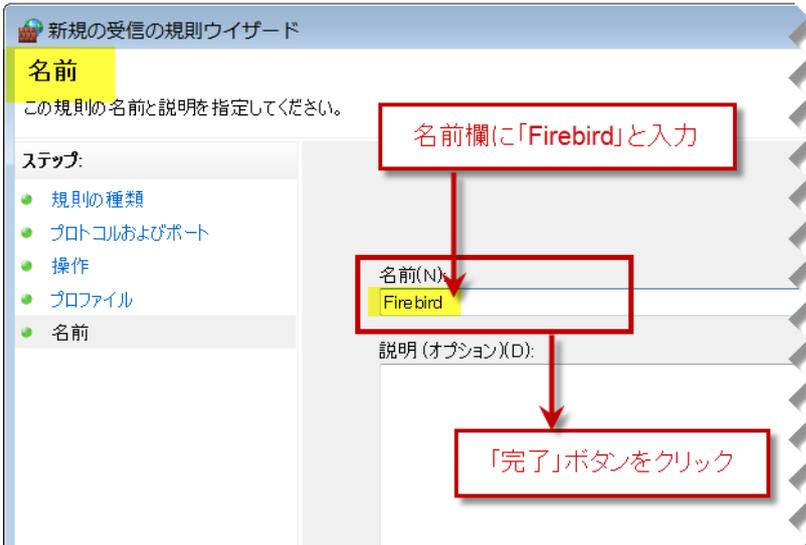
「接続を許可する」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



「プロフィール」画面が表示されます。

- ドメイン
- プライベート
- パブリック

の3か所ともチェックされていることを確認し、「次へ」ボタンをクリックします。



「名前」画面が表示されます。

名前欄に「**Firebird**」と入力し、完了ボタンをクリックします。





新たな受信の規制として「Firebird」が追加されました。



Windows ファイアウォール設定画面を閉じてください。

## 2.4 TCP/IP 接続状況をチェック（サーバーPC で実行する）

ファイアウォール設定が正常にできていればサーバーPC で TCP/IP 接続による通信が可能になるはずですが、サーバーPC 側の DBCheck システムを利用して接続テストを行います。

### ※サーバーPC での処理

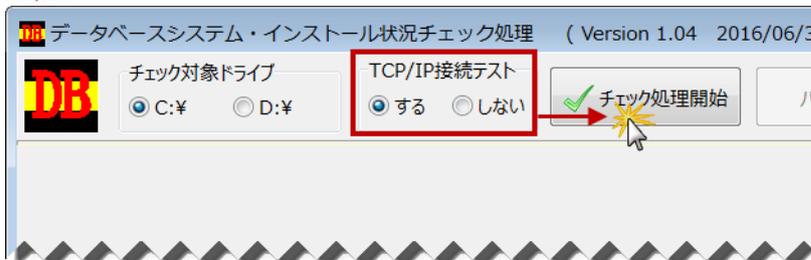
#### ■ 起動処理



#### ■ アイコンを右クリック

→「管理者として実行」

管理者として実行しなければエラーになります。



#### ■ TCP/IP 接続テスト

「テストする」を選択します。

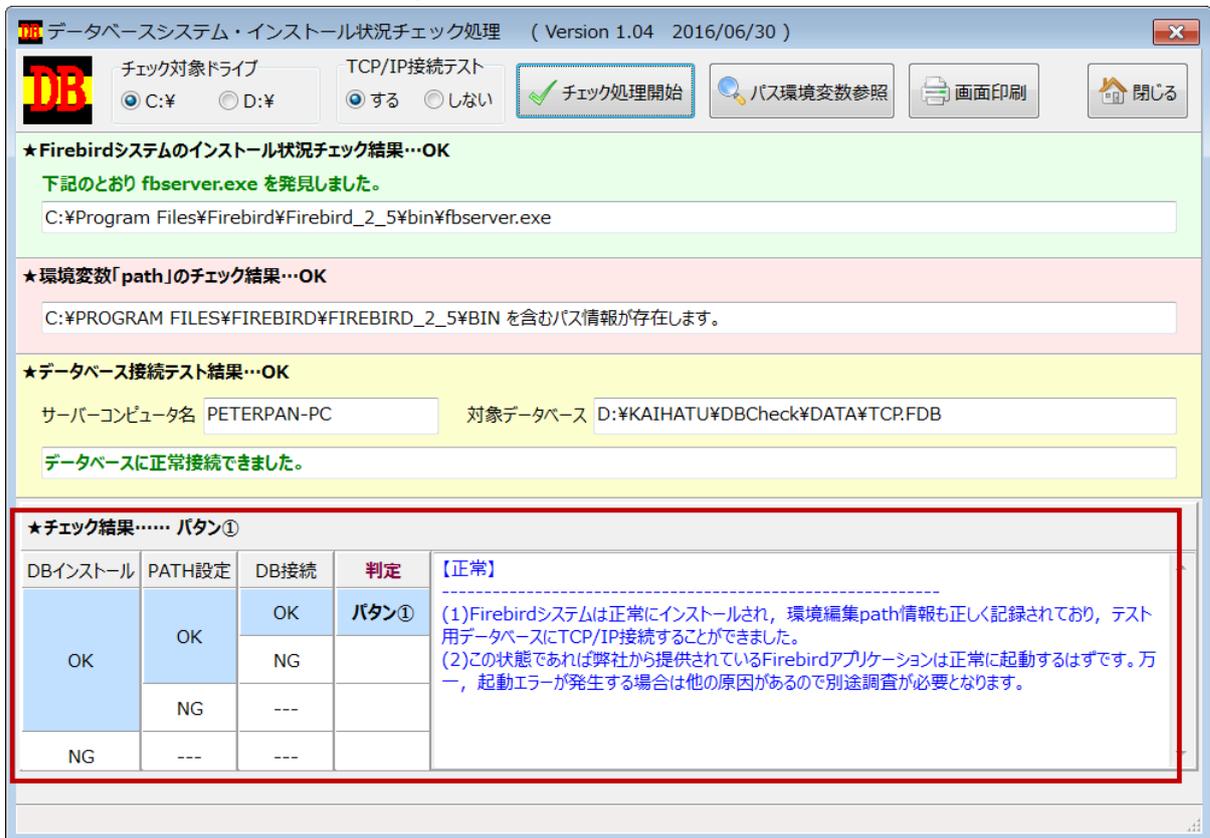
#### ■ チェック処理を開始します。



チェック処理が始まります。システム環境によっては多少時間がかかる場合があります。



■ チェック結果 = パタン①であれば TCP/IP 接続が成功しています。



ここで接続エラーが発生する場合は次の点をチェックしてください。

- 1 : ファイアウォール設定
- 2 : 環境変数 path 設定

## 3 Firebird システムのインストール

### 3.1 Firebird システムについて

Winner7 システムをネットワーク運用するためにはサーバーPC 及びクライアント PC に Firebird システムをインストールしなければなりません。サーバーPC には既に Firebird システムがインストールされているものとし、ここではクライアント PC に（複数台のクライアント PC があればそれぞれに） Firebird システムをインストールする手順を説明します。

### 3.2 Firebird システムのインストール手順（クライアント PC で実行する）

#### 3.2.1 インストール前の確認事項

- ① Windows に管理者としてログオンしていること。
- ② FIREBIRD という名前の環境変数が設定されていないこと。
- ③ 旧バージョンの Firebird がインストールされていないこと。旧バージョンの Firebird は事前にアンインストールしておくこと。

#### 3.2.2 Firebird インストーラの準備

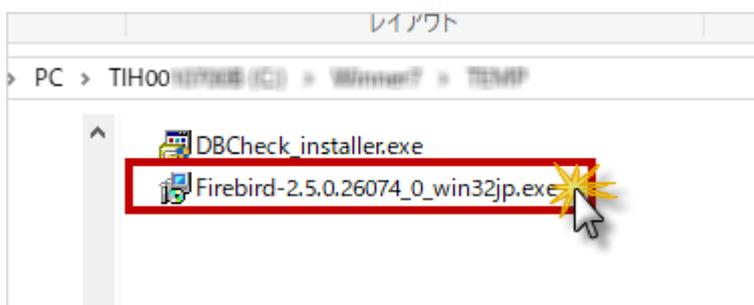
クライアント PC に Firebird システムをインストールする場合に必要なインストールプログラムについては下記手順により事前に準備する必要があるので注意してください。

Firebird システムインストーラは通常の場合**サーバーPC** の下記フォルダーに記録されています。

### C:¥Winner7¥TEMP

- ① このフォルダーを外部媒体（USB 等）にコピーする。
- ② 当該媒体をクライアント PC にセットする。
- ③ 下図のとおり Firebird システムインストーラを起動する。

#### 3.2.3 Firebird インストール処理実行（クライアント PC で実行する）



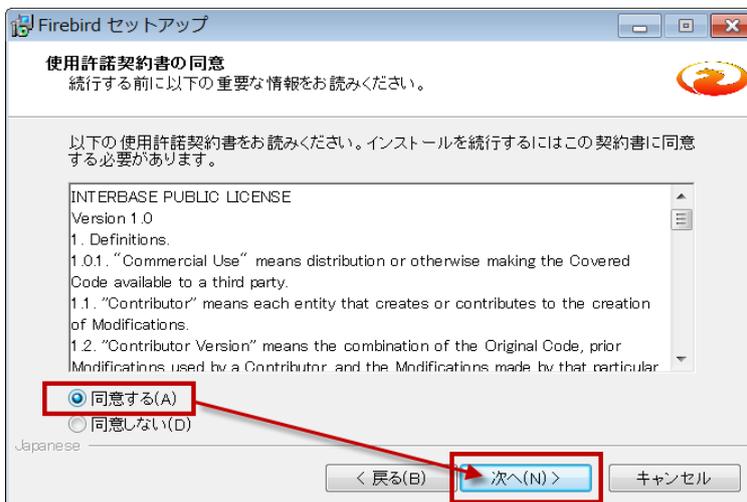
Firebird インストーラをクリックします。



使用言語選択  
↓  
日本語(Japanese)

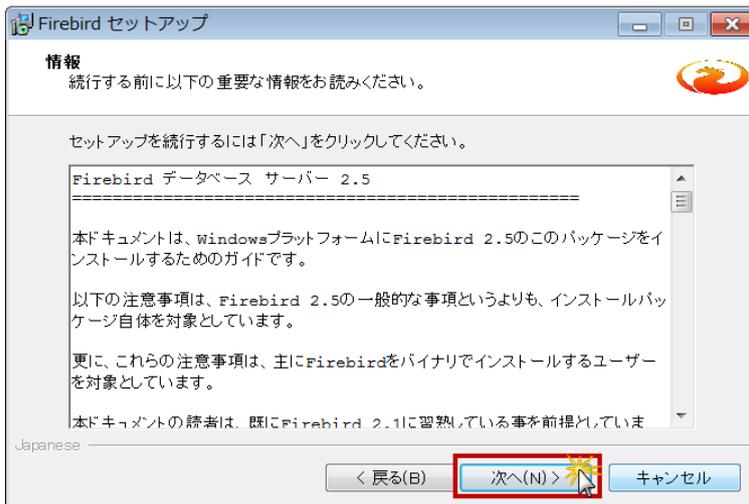


Firebird セットアップ開始

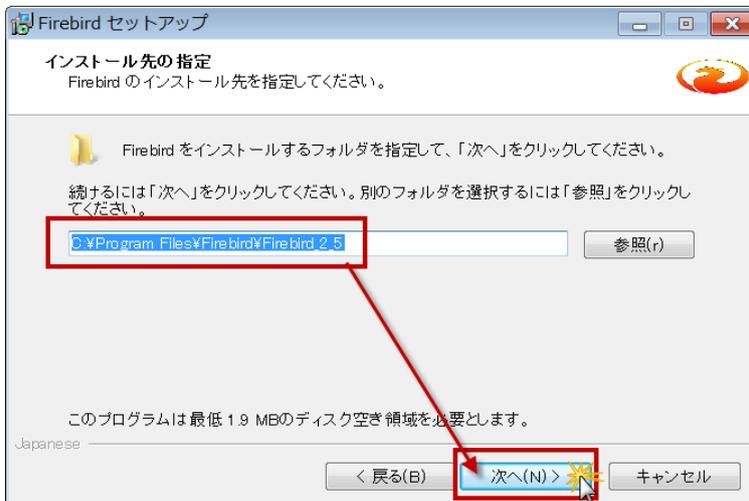


使用許諾  
◎「同意する」を選択





セットアップ情報画面  
↓  
次に進む。

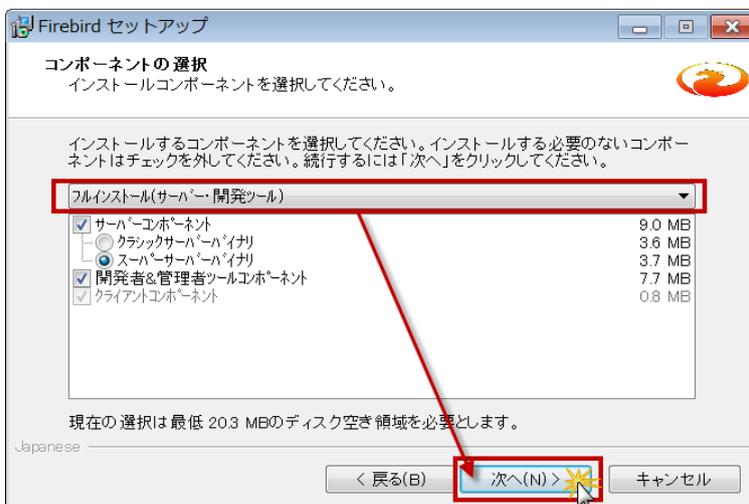


インストール先指定。

特に問題がなければこのまま次に進みます。

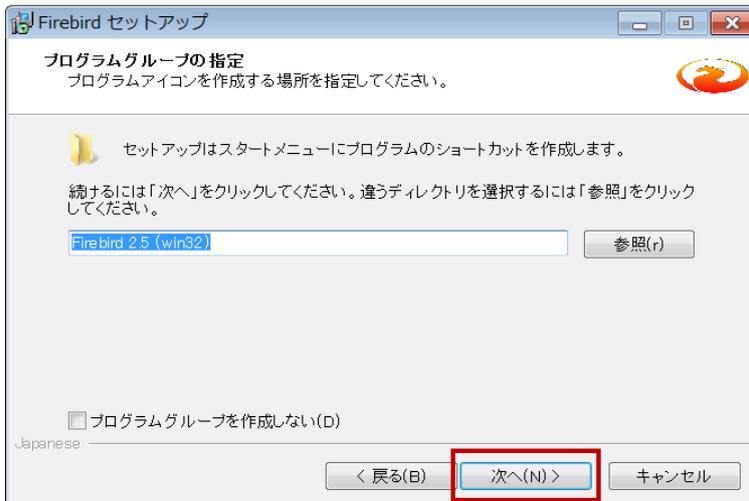
本例（32ビット環境）では **C:\Program Files\Firebird\Firebird\_2\_5** ですが、ご使用中の Windows 環境によっては異なることがあります。

例：**C:\Program Files(x86)\Firebird\Firebird\_2\_5**



コンポーネントの選択

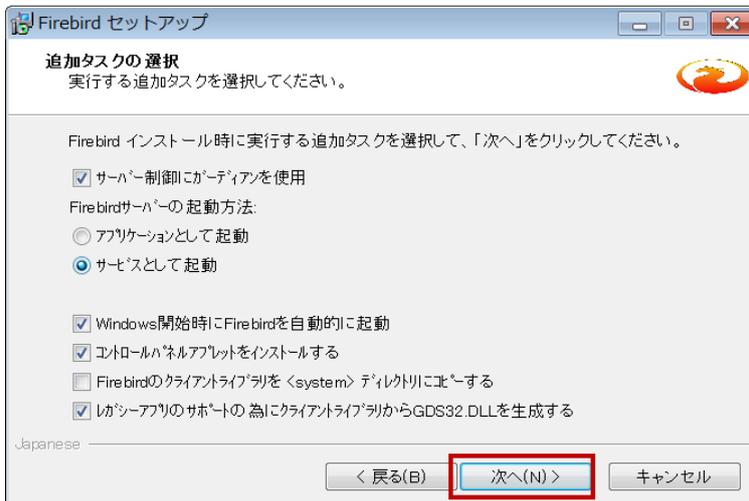
↓  
既定値のまま次へ進む



プログラムグループの指定



既定値のまま次に進む



追加タスクの選択



既定値のまま次に進む

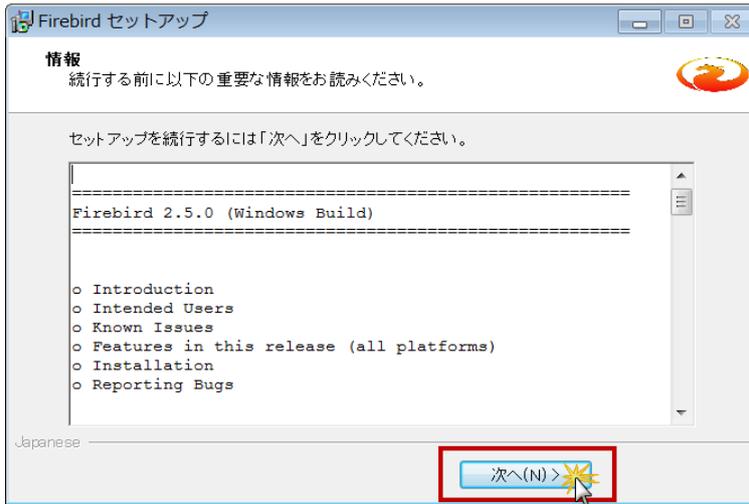


インストール準備完了



インストールボタンをクリック





確認のみ  
↓  
次へ進む



インターネットに接続されている場合、Firebird のウェブサイト自動的に接続されることがありますが、必要でなければそのサイトは終了（閉じる）してください。

## 4 DBCheck システム実行

### 4.1 DBCheck システムについて

DBCheck システムは前節でインストールしたデータベースシステム（Firebird）に関する以下の機能を備えています。

- ◆ Firebird システムのインストール状況チェック機能
- ◆ Windows 環境変数「path」の自動設定機能
- ◆ ネットワーク接続に必要な TCP/IP 接続状況チェック機能

### 4.2 DBCheck システムのインストール手順（クライアント PC で実行）

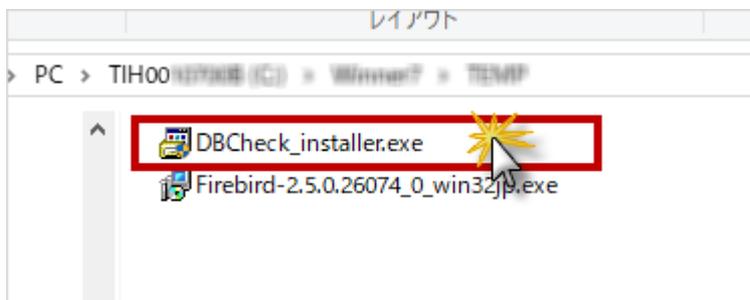
#### 4.2.1 DBCheck システムインストーラについて

DBCheck システムインストーラは通常の場合サーバー PC の下記フォルダーに記録されています。

**C:¥Winner7¥TEMP**

- ④ このフォルダーを外部媒体（USB 等）にコピーする。
- ⑤ 当該媒体をクライアント PC にセットする。
- ⑥ 下図のとおり DBCheck システムインストーラを起動する。

#### 4.2.2 DBCheck システムのインストール



インストールプログラム  
**DBCheck\_installer.exe**  
を実行します。

自動解凍処理が始まります。



インストールを完了すると、デスクトップにこのようなアイコンが表示されます。

### 4.3 DBCheck システムの実行（クライアント PC で実行）

別冊の Winner7 インストール操作マニュアル①（基本編）に記述された DBCheck システムの実行ページを参照の上作業を進めてください。

## 5 ネットワーク（LAN）運用について

### 5.1 はじめに

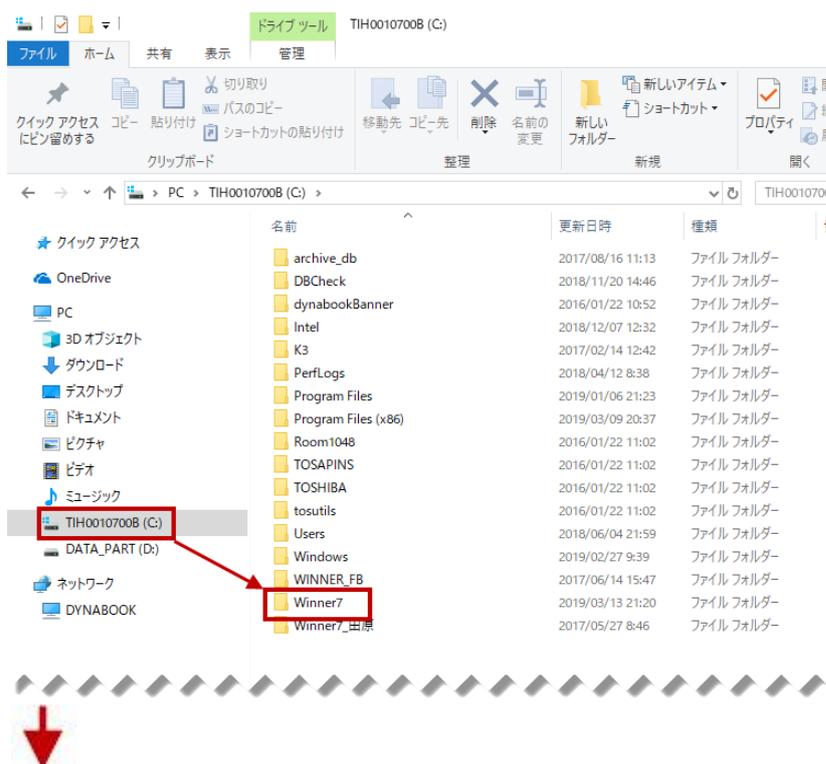
複数の PC を連携したネットワークシステム（有線 LAN・無線 LAN・Wi-Fi）で運用する場合は以下の作業が必要になります。（クラウドには対応していません）

### 5.2 Winner7 フォルダを共有する（サーバーPC で実行）

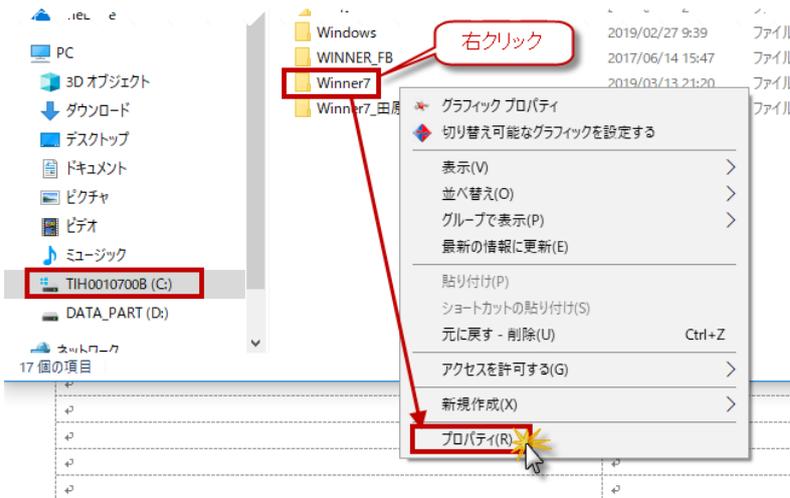
複数の PC で Winner7 システムを利用する場合クライアント PC から参照されるフォルダについて共有設定を行っておく必要があります。この作業は Windows の基本動作であるので書籍やネット上に多くの情報が提供されていますが本稿でも簡単に説明しておきます。

以下の処理は **サーバーPC** で実行してください。

ここでは次のフォルダに対して共有設定を行うものとします… **C:¥Winner7**

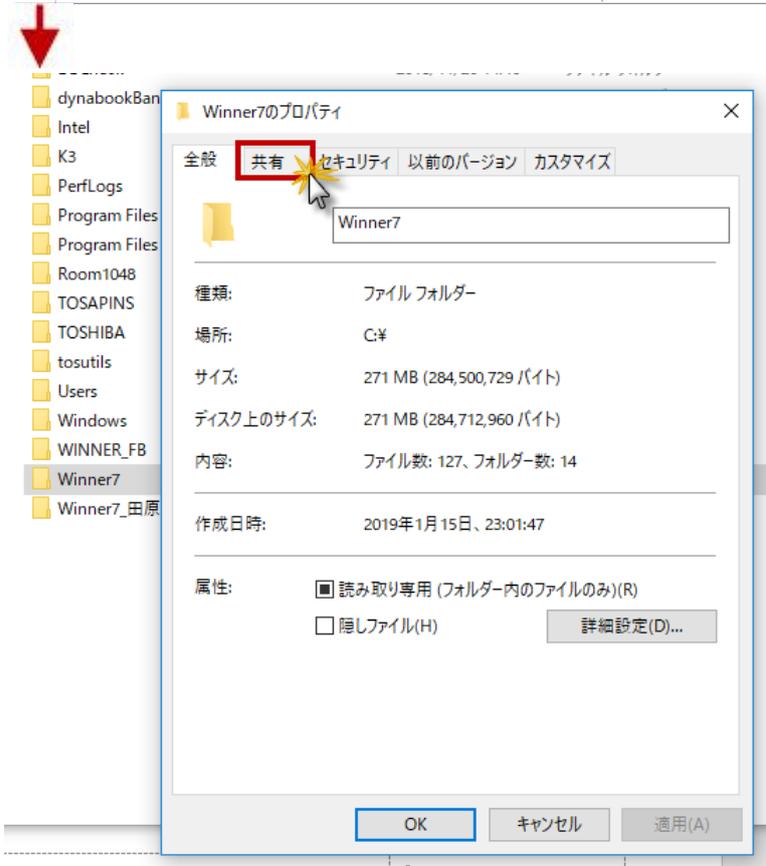


エクスプローラーを起動し共有したいフォルダを指定する。  
本例ではサーバーPC 上の C:¥Winner7 フォルダ。

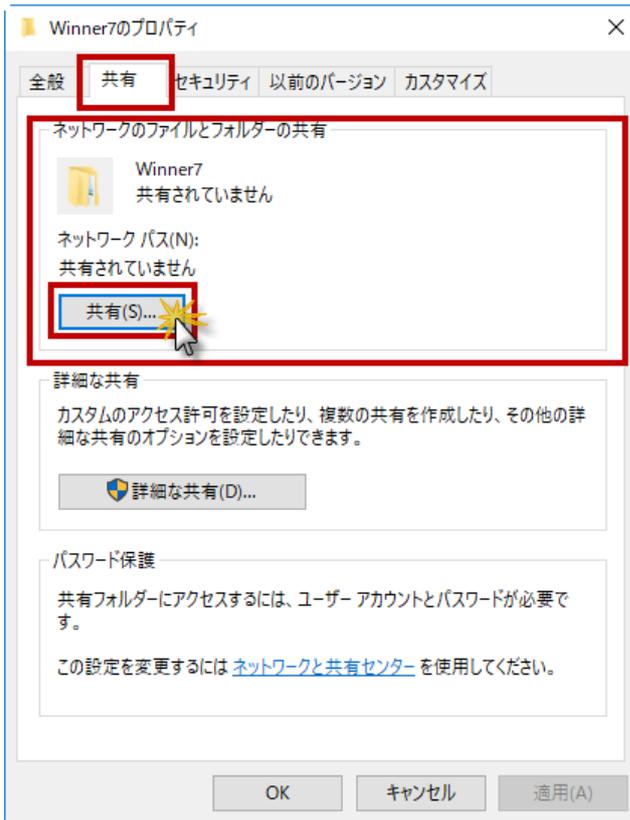


対象フォルダーにマウスを移動し**右クリック**する。

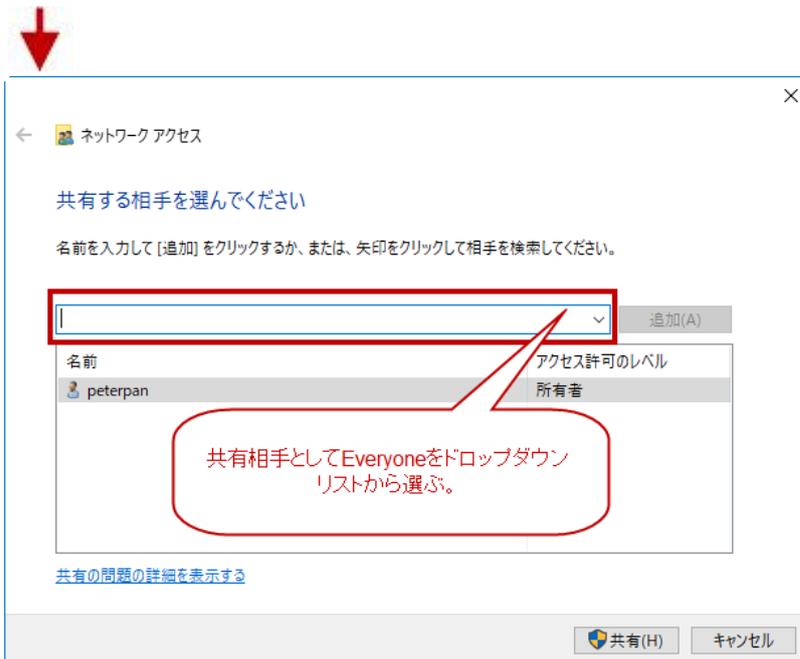
次にプロパティをクリックする。



共有タブをクリックする。



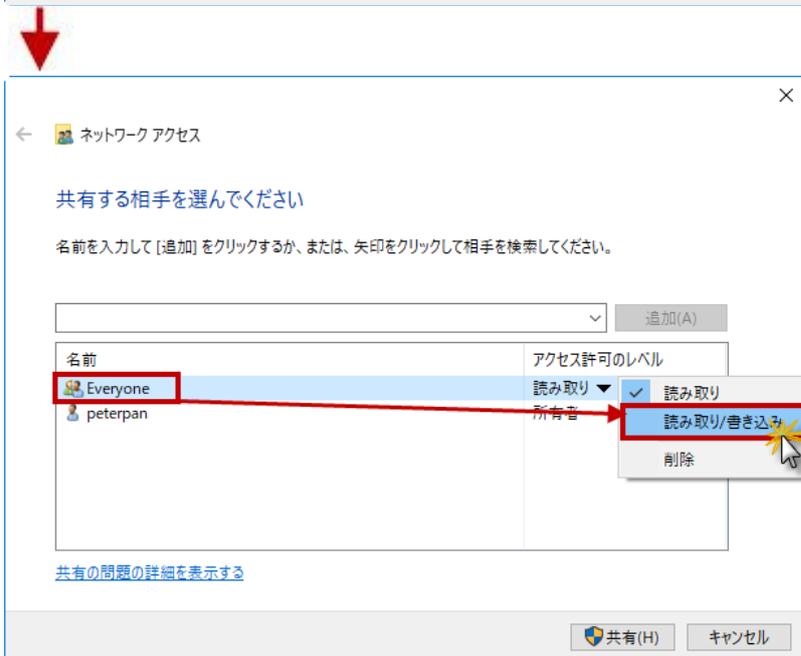
ネットワークのファイルとフォルダーの共有  
↓  
【共有】をクリックする。



共有相手を選択する。  
ここでは Everyone を選択する。



【追加】ボタンをクリックする。



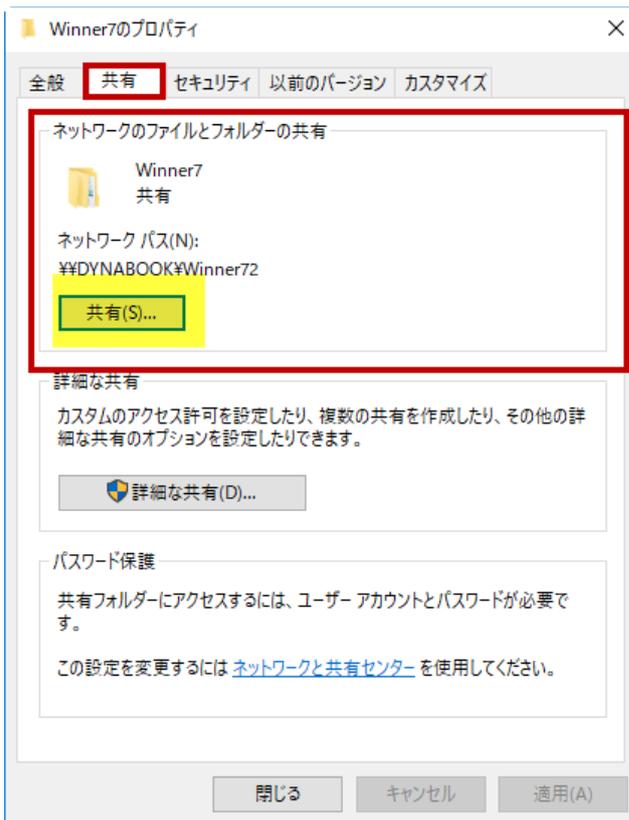
Everyone のアクセス許可レベルを【読み取り/書き込み】を指定する。



【共有】ボタンをクリックする。



終了ボタンをクリックする。



共有設定完了を確認する。

### 5.3 データベースの接続情報を設定（サーバーPCで実行）

インストール直後のデータベース接続は「**LOCAL 接続**」となっています。  
スタンドアロン方式で運用している場合にはこれで問題ありませんが、複数 PC でネットワーク運用したい場合はデータベースの接続情報を設定しなくてはなりません。接続手順を説明します。

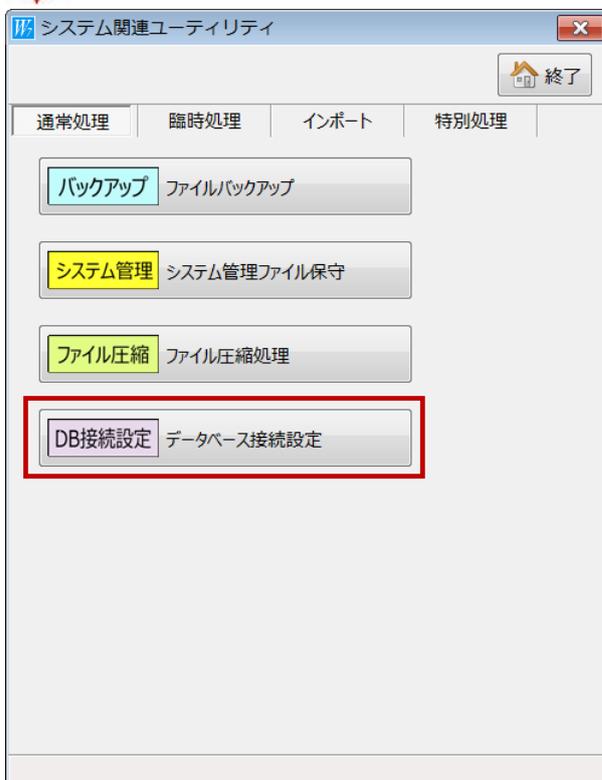
以下の処理は**サーバーPC**で実行してください。



データベースの接続手順

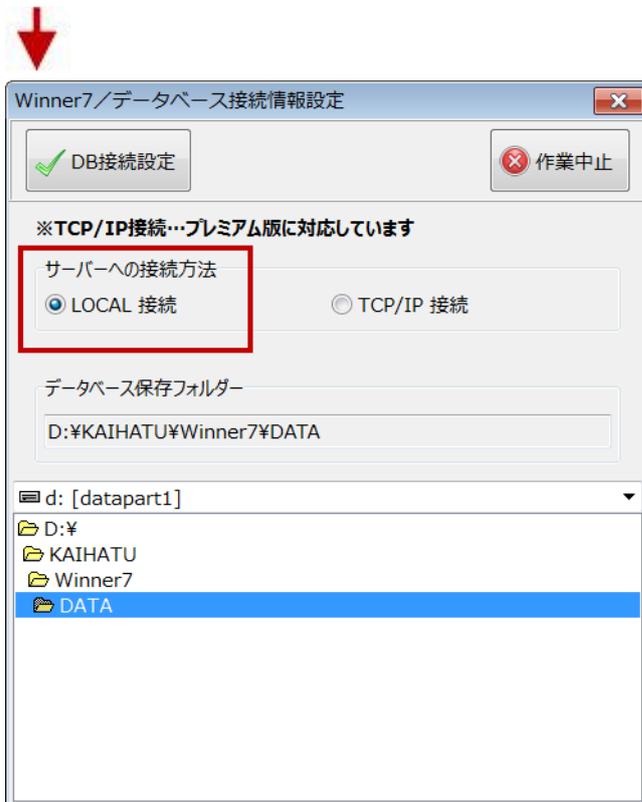
サーバーPCでWinner7  
を起動

次にユーティリティを起動



データベース接続設定をクリックする。

※プレミアム版のみ表示されます。

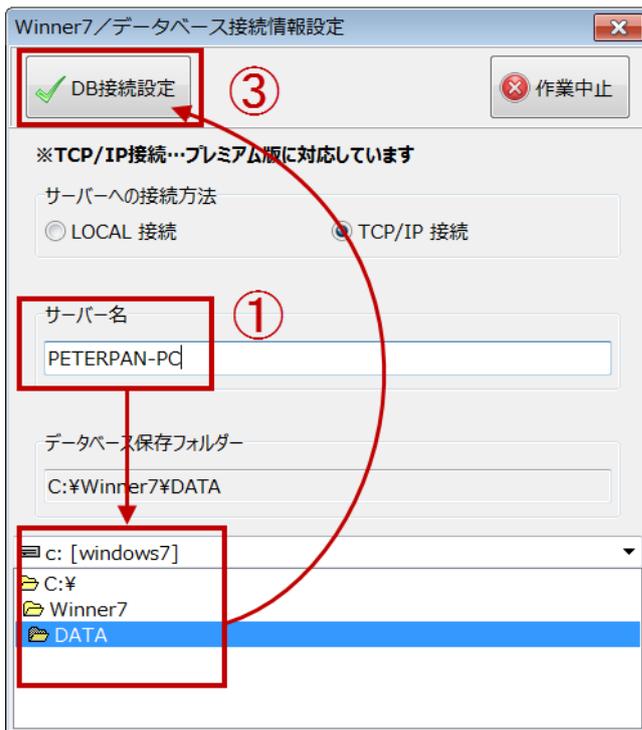


現在は  
「LOCAL 接続」  
になっている。



ネットワーク接続を設定する  
場合は  
「TCP/IP 接続」  
をクリックする。

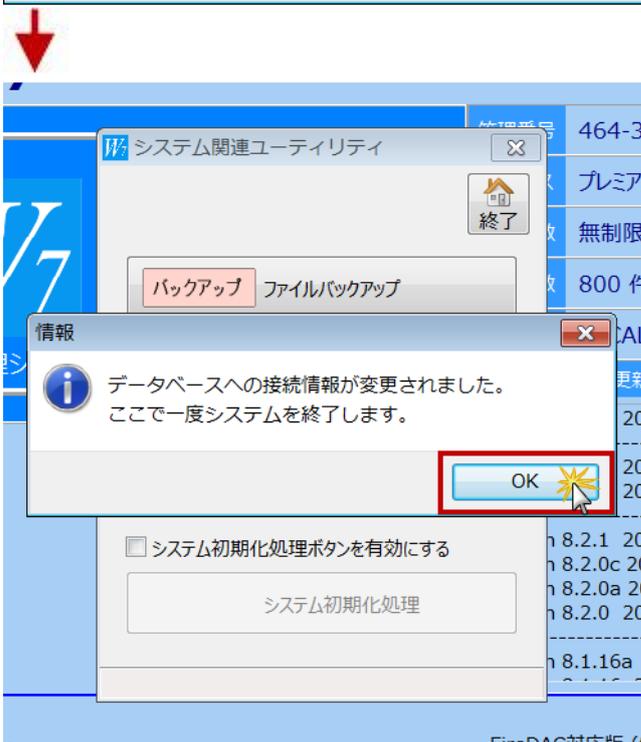
**※重要な注意**  
プレミアム版以外ではこの  
作業はできません。



①サーバー名指定  
サーバーとなるPCのコンピュータ名を指定する。  
本例では  
**PETERPAN-PC**

②データベース保存フォルダ指定  
データベースが保存されているフォルダを指定する。  
標準では  
**C:¥Winner7¥DATA**

③DB 接続設定ボタンをクリック



データベースの接続情報が正常に変更された場合、ここでいったんシステムを終了する。

↓  
Winner7を起動する

改めて Winner7 を起動する。

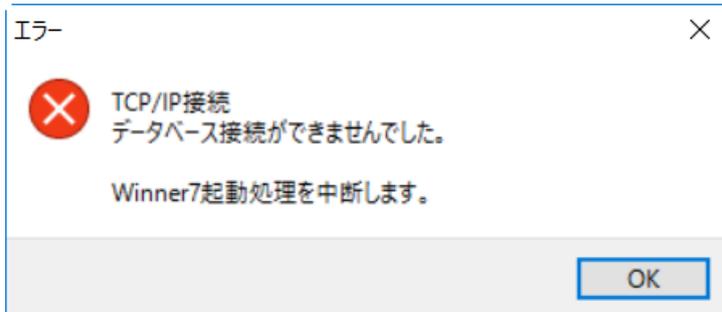


正常に起動すると左のような表示となる。

TCP/IP 接続が完了したことを確認できる。

ここまでたどり着くことができれば第一段階を無事クリアしたことになります。

※データベースに接続できない場合は次のメッセージが表示される。



データベースへの接続ができない場合は左のようなメッセージが表示される。

↓

Winner7はTCP/IP接続設定を強制的にローカル接続設定に変更します。

正しい設定を試みてください。

## 5.4 ネットワークに接続設定手順

実際に複数 PC のネットワーク環境で Winner 7 を操作する方法について説明します。

### 5.4.1 処理の概要

ネットワーク上に 2 台の PC（1 号機・2 号機）が接続されていると想定し、1 号機を**サーバー PC**、2 号機を**クライアント PC** として運用するものとします。

Winner 7 システムを 1 号機（JACK）の C:¥Winner7 にインストールしておきます。

2 号機（クライアント）に Winner7 システムをインストールする必要はありません。

ネットワーク上で参照できるように Winner7 システムがインストールされているフォルダーに対して**共有設定**を行っておきます。共有設定の方法は Windows の基本的な処理方法によります。本例では「C:¥Winner7」フォルダーを共有できるように設定されているものと想定しています。

1 号機から Winner 7 を起動する場合は

**C:¥Winner7¥PROGRAM¥Winner7.exe**

を実行します。通常はショートカットを作成しデスクトップ上に表示しておく便利です。  
Winner 7 インストール直後は自動的にショートカットが作成されています。



2 号機（クライアント PC）から Winner 7 を起動する場合はネットワーク経由で下記アプリを起動します。

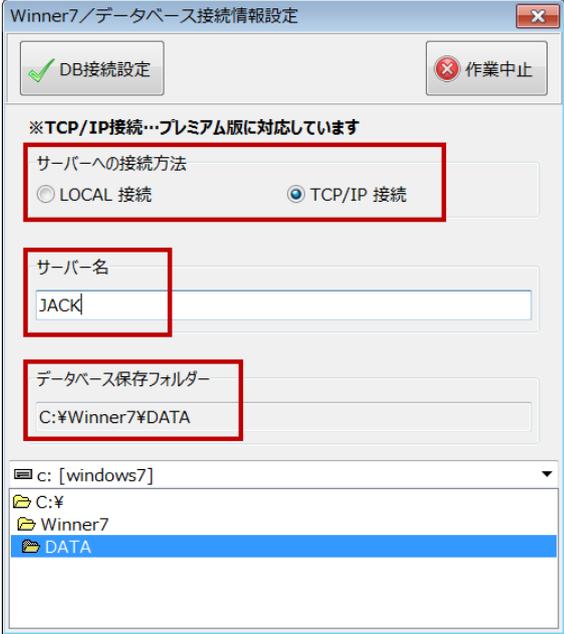
**¥¥JACK¥C:¥Winner7¥PROGRAM¥Winner7.exe**

2 号機（クライアント PC）でも 1 号機同様上記アプリのショートカットを作成しておく便利です。

以下に手順を図解します。

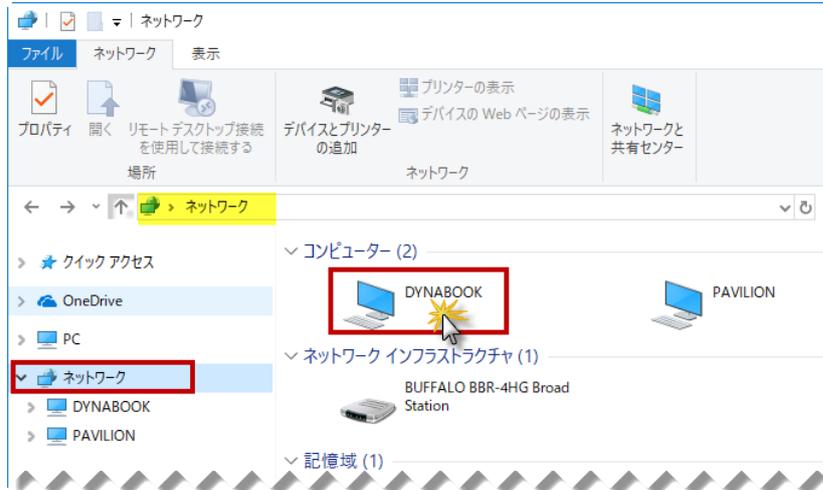
## 5.4.2 設定内容（まとめ）

設定内容を以下にまとめておきます。

区分	PC（1号機）	PC（2号機）
機能	サーバー	クライアント
PC名	JACK	BETTY
Winner 7	インストール済	（インストール不要）
共有フォルダー	C:¥Winner7	—
設定		
Winner 7 の起動	C:¥Winner7¥PROGRAM¥Winner7.exe	¥¥JACK¥C:¥Winner7¥PROGRAM¥Winner7.exe

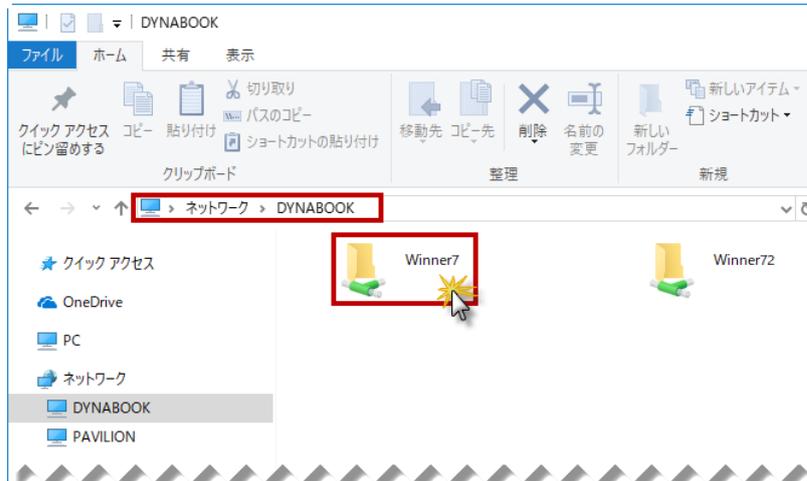
### 5.4.3 クライアントから Winner7 を起動する

この設定でクライアント PC（2 号機）から Winner 7 を起動することができれば設定完了です。

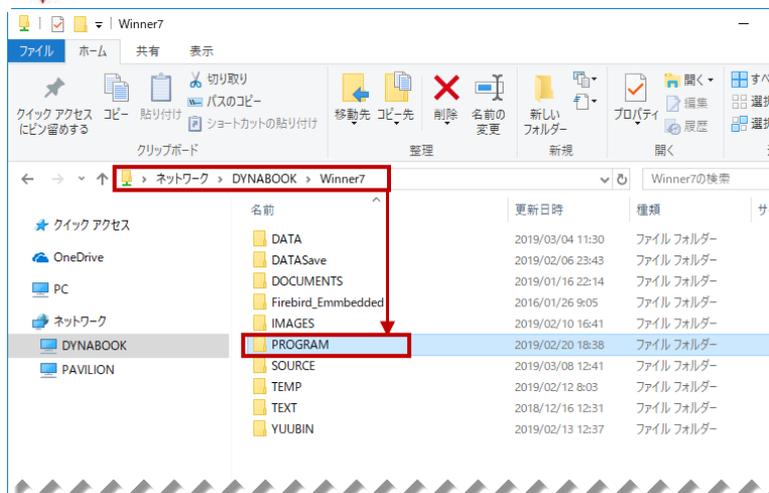


エクスプローラーを起動しネットワークを参照する。

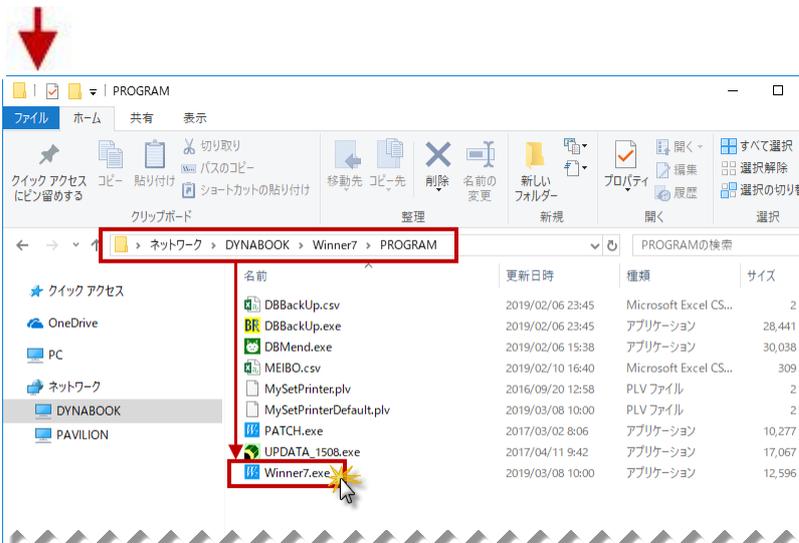
本例では **DYNABOOK** を参照するものとする。



**DYNABOOK** 上の共有フォルダー【Winner7】をクリックする。



Winner7¥PROGRAM フォルダを開く。



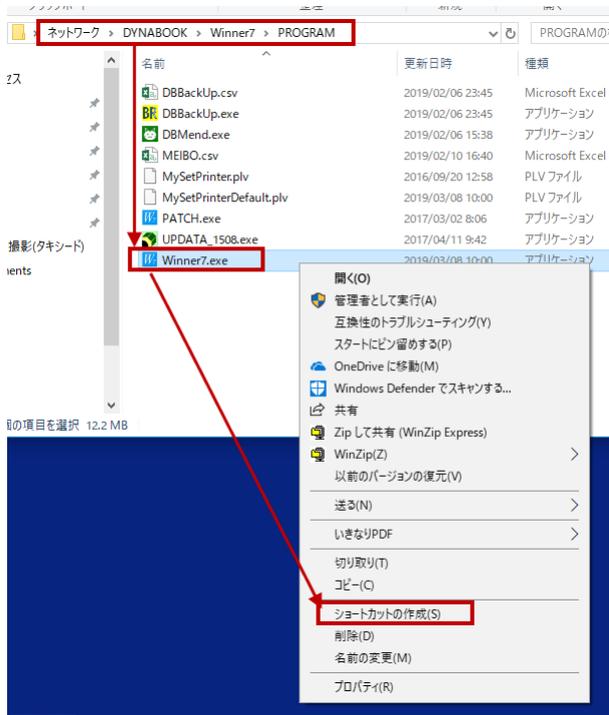
Winner7.exe をクリックする。



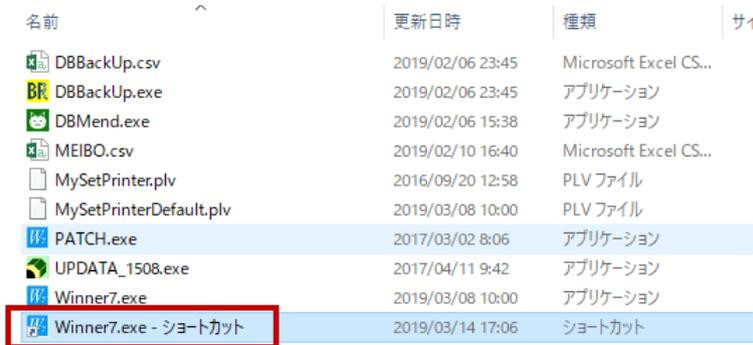
クライアントとして起動する。

#### 5.4.4 ショートカットの作成

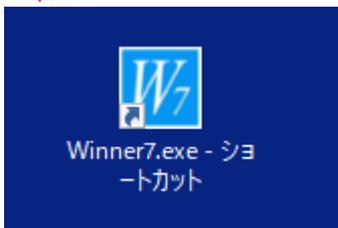
ショートカットの作成は Windows の基本処理ですが念のため本稿でも記述しておきます。



ショートカット作成対象となる  
Winner.exe  
にカーソルを合わせて右クリックする。  
↓  
ショートカットの作成をクリック



生成されたショートカットアイコンを  
ドラッグしデスクトップに移動させる。



デスクトップに移動したショートカット  
アイコン。  
必要に応じて名前を変更しておく  
ことをお勧めします。

## 6 付録

### 6.1 トラブルシューティング

正常に起動しない場合の原因はさまざま考えられますが、代表的なケースをお示します。

1. ネットワーク（LAN）は正常に接続されていますか？
2. **フォルダーの共有設定**は正しくできていますか？
3. サーバー側 PC の TCP/IP 接続設定パラメータは正しく指定されていますか？
4. クライアントにもデータベースシステム（Firebird システム）が正しくインストールされていますか？
5. クライアント側の環境変数 PATH が正しく設定されていますか？
6. ファイアウォール設定は正しくできていますか？
7. PC 側，クライアント側，それぞれ CBCheck 処理が正常に終了していますか？

### 6.2 サポート連絡先

※2018 年 10 月現在

有限会社田原産業／ソフトウェア事業部

ネバーランドソフトウェア

メール：[peterpan@deluxe.ocn.ne.jp](mailto:peterpan@deluxe.ocn.ne.jp)

FAX:086-228-9020

TEL:090-3179-6265（田原携帯：運転中等は留守番電話になります。）

### 6.3 改訂履歴

第 1 版	2018 年 10 月
第 2 版	2019 年 03 月